

うきたむ考古通信

2020年4月号

■発行者 うきたむ考古の会
事務局 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
〒992-0302 山形県東置賜郡高島町安久津2117
電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

♥令和2年度の館事業が始まりました

- 1 4月1日、令和2年度事業が始まりました。今年度は当館職員5名のうち、3名が退職し、新たに3名の職員が採用されました。また、館長と考古の会担当の伊藤も新たな制度である会計年度任用職員として雇用されました。昨年度までお勤めいただいた菅原仁美学芸員、片山眞尊嘱託は家庭の事情で退職し、浅野美和嘱託は新制度で高島町役場に採用となり資料館を離れました。また、町教委の水口哲文化財係長が引き続き館長代理を勤めることになっています。新年度を迎え、6名で力を合わせ、新たな気持ちで仕事にあたりたいと思っていますので、会員の皆様にもお力添えを賜りますよう、よろしく願いいたします。昨年秋の遺跡めぐりで一旦は満期退職になると皆様にお別れの挨拶をした伊藤が、新たな任用制度で引き続き勤めることとなりましたので、今年も考古の会を担当することとなります。
- 2 さて、世界中が新型コロナウイルス感染の恐怖にさらされており、山形県内でも連日感染者が確認されています。このような中、ホームページ上でもお知らせしましたが設置者の指示により3月28日から当面の間閉館となっており、再開の見通しは立っていません。
- 3 3密を避ける上でも4月18日に予定していましたが定例役員会と5月16日に予定していましたが定例総会は、中止することとし、後日、書面での議決をお願いすることといたしました。
- 4 別添で今年度の館事業の催し物案内をお送りしますが、5月までの館事業は中止となりましたので5月31日に開催する予定だった宮城県東松島市の「春の遺跡めぐり」も今回は中止し、感染拡大が終息すれば「秋の遺跡めぐり」として実施したいと考えています。今年度の「催し物案内」についての詳細は事業が近づいた時点で「考古通信」において案内いたしますが、現在分かっている主な事業は以下のとおりです。各事業に会員の皆様の積極的な参加をお願いいたします。

展示事業

1. 常設展示

常設展示室の展示内容に変更はありません。

2. 企画展示

(1) 特別テーマ展

例年開催していた特別テーマ展は館内収蔵資料の台帳作成を急ぐ必要があり、令和2年度は開催しないこととしました。

(2) 第28回企画展「水木田遺跡と縄文時代中期前半の山形」

令和2年9月12日(土)～12月6日(日)

令和元年度で保存修理が終わった重要文化財「山形県水木田遺跡出土品」を中心に、県内各地から出土した縄文時代で最も華やかな同時代の出土品を展示する。

〈展示構成〉下記の遺跡の出土品を展示することを検討している。

庄内地域——遊佐町柴燈林遺跡、酒田市蕨山遺跡(飛島)、鶴岡市西向遺跡

最上地域——最上町水木田遺跡、舟形町西ノ前遺跡、新庄市中川原C遺跡

村山地域——尾花沢市原の内A遺跡、村山市落合遺跡

置賜地域——米沢市台ノ上遺跡、長井市宮遺跡

普及啓発事業

1. 体験事業—ものづくりを通して考古学に関心を持ち、知識向上や達成感にもつながる体験事業を行う。

(1) 「勾玉・弓矢・石器をつくろう」

5月30日(土)中止となりました・7月11日(土)・11月3日(火・祝)

(2) 「ガラス玉をつくろう」

6月13日(土)・11月28日(土)

(3) 「からむしで布をつくろう」(あんぎんをつくろう)

6月20日(土)・12月5日(土)

(4) 「古代風ブレスレットをつくろう」

6月20日(土)・12月5日(土)

(5) 「大人の自由研究」

7月18日(土)・12月19日(土「赤ちゃん手形をつくろう」)

(6) 「赤ちゃん手形をつくろう」

8月8日(土)～8月13日(木)

※今年は8月開催に変更しました。開催が可能となった場合、今年も会員の皆様から、準備と当日のお手伝いのボランティアを募集することを計画していますので、よろしく願いいたします。また、会員の皆様のお子様、お孫様、お知り合いの方々にもお声掛けいただきますようお願いいたします。

2. 研修会— 遺跡・資料館をめぐる

(1) 春の遺跡めぐり 5月31日に予定していましたが中止となりました

(2) みる・きく・ふれる遺跡の旅 令和2年7月11日(土)～12日(日) 栃木県中南部年々参加者が減少し、催行が危ぶまれる状況となっています。今年も栃木県の2回目ということで、昨年に引き続き栃木県の中南部を芹沢清八氏(元栃木県埋蔵文化財センター)から案内していただきます。訪問予定地は以下のとおりです。

足利学校、鏝阿寺本堂、佐野市立郷土博物館、唐沢山城後、葛生化石館、星野遺跡、栃木蔵の町観光、下野国庁、寺野東遺跡、下野薬師寺跡、しもつけ風土記の丘資料館、埋蔵文化財センター、摩利支天塚古墳・琵琶塚古墳、吾妻古墳、壬生資料

館、愛宕塚、車塚、牛津古墳、栃木県立博物館 新型コロナの終息がなければ中止
(3) 秋の遺跡めぐり 令和2年10月17日(日) 東松島市
※春の予定地に行きます。

3. 考古学への関心の裾野を広げる事業

(1) 館長講座 「小山崎遺跡を知ろう」

令和元年度に国指定史跡となった遊佐町小山崎遺跡の調査成果を7月の日曜日に3回に分けて解説・説明する。

対 象：一般30名程度

参加費：資料代300円(第1・2回)

第1回(7月5日(日))

- ・小山崎遺跡の調査経過
- ・小山崎遺跡の早期から前期前葉の遺構と土器・石器
- ・小山崎遺跡の前期中葉から後葉の土器・石器

第2回(7月12日(日))

- ・小山崎遺跡の中期の遺構と土器・石器
- ・小山崎遺跡の後期の遺構と土器・石器
- ・小山崎遺跡の木製品と動植物遺体

第3回(7月19日(日))

現地見学：高島町のマイクロバスで行きます。実費を負担していただきます。

(2) 第22期考古学セミナー

第28回企画展「水木田遺跡と縄文時代中期前半の山形」の開催にちなみ、縄文時代中期前半の庄内、最上、村山、置賜の各遺跡の発掘調査の成果と当該期の住居や集落、出土品についてお話しをうかがいます。開講時間は各日とも13:30~16:00です。

対 象：一般50名程度

参加費：全3回1,500円(1回600円)

令和2年9月27日(日)

「重要文化財 水木田遺跡出土品について」 阿部 明彦氏(山形考古学会副会長)
「庄内地域の縄文時代中期前半について」 須賀井新人氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

令和2年10月11日(日)

「最上地域の縄文時代中期前半について」 水戸部秀樹氏 ((公財)山形県埋蔵文化財センター)

「村山地域の縄文時代中期前半について」 渋谷 孝雄 (うきたむ風土記の丘考古資料館)

令和2年10月18日(日)

「東置賜地域の縄文時代中期前半について」 菊地 政信氏 (日本考古学協会会員)

「西置賜地域の縄文時代中期前半について」 岩崎 義信氏 (長井市教育委員会)

(3) 第28回企画展 記念講演会

11月15日(日)

「山形県の縄文時代中期前半の文化動態」 菅原 哲文氏(多賀城市教育委員会)

※「山形考古学会」との共催事業として山形の考古資料検討会を実施する

※うきたむ学講座は実行委員会開催後に決定予定